

# 大阪船員保険病院だより



## 新年のご挨拶 地域の皆様に愛される病院を目指して



院長 別府 慎太郎

みなさん、明けましておめでとうございます。

院長の別府です。赴任して9ヶ月が過ぎ、ようやくこの病院にも慣れてきたところです。前病院長の高光先生からも申し送りされていることですが、この病院の使命は地域医療の充実です。大学病院のような巨大病院でも、遺伝子治療のような最先端医療を行っている病院でもありません。しかし、この地域の中核病院として自覚し、皆さまの健康を守る、少しでも早く病氣から回復して頂く、少しでも笑顔で長生きして頂くということを使命にしている病院です。「痛い」「しん

どい」「つらい」をどのように助けてあげられるかを常に考えています。不安一杯で外来の待合室のいすに座って診察を待っておられる患者さんには、看護師は笑顔で接しましょう。入院治療が必要な方には直ぐにでも入院して頂けるよう準備しましょう。正確な診断ができるように検査技師や放射線技師は、常日頃から研鑽を積みましょう。そして医師たちは患者さんの手をとって、「どうぞ安心して下さい」と優しく言いましょう。それがこの病院です。患者さんたちのために、病診連携を進める病院です。「病診連携」とは難しい言葉ですが、病診の病は病院、病診の診は診療所。普段は患者さんたちの主治医は開業の先生方ですが、患者さんに必要な検査や入院治療が生じたときに病院がそれを引き受け、患者さんのために病院と診療所が協力し合うシステムのことを言います。地区の医師会と協力し合って、皆さんの健康を守り、病気を治していきたいと思っています。そして、次が一番肝心なことですが、全てのことを、「患者さんの目線」で進めたいと思っています。病院の都合に合わせるのではなく、可能な限り患者さんの立場を理解し尊重して、医療を行う。これが本院の今年の目標でしょうか。

病院の全てを知って頂くために、インターネットでのホームページを完全リニューアルします。病院にどのような設備があるのか、どのような検査ができるのか、どんな医師が診療に当たっているのか、全てご覧いただけます。特に、「看護部長からのメッセージ二人三脚で病気を克服」のところは、患者さんに是非見て頂きたいページです。

この病院は、昨今の医療崩壊の波に晒され、医師不足、看護師不足が深刻です。財政面も不安が一杯です。それでも、私たちの努力と皆さんの協力で、今年は昨年よりも更によりよい病院であるように頑張りたいと思います。

大阪船員保険病院は、地域の皆さんの病院です。

## 耳鼻咽喉科紹介

耳鼻咽喉科部長 坂口 喜清

耳鼻咽喉科とは、その名前のように、耳、鼻、のど（咽頭、喉頭）、あるいはその周辺の、口腔、頸部などの病気を主に扱う診療科です。

細菌やウイルスなどによって起こされる感染症（中耳炎、外耳炎、副鼻腔炎（蓄膿症）など）、アレルギーで起こる病気（アレルギー性鼻炎、口腔アレルギーなど）、腫瘍（耳下腺腫瘍、喉頭癌など）、その他にも外傷、熱傷、異物、など数え上げればキリがありません。

本日は、まもなく今年もやって来る「花粉症」について、少しお話ししたいと思います。

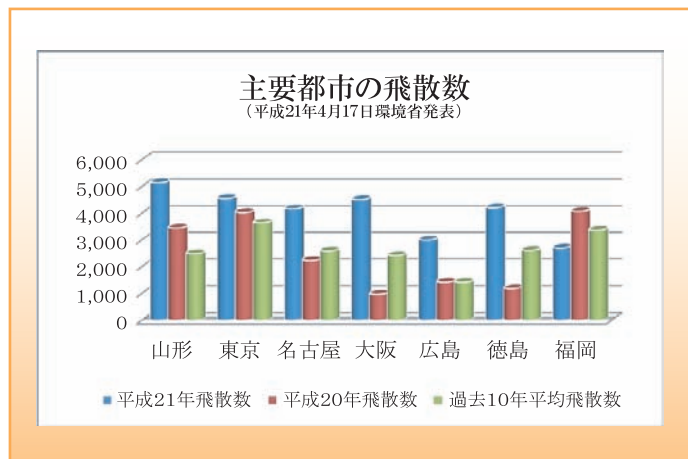
### ◎花粉症について

「花粉症」は、植物の花粉が鼻の粘膜の上などでアレルギー反応を起こし、くしゃみ、鼻水、などの症状を起こす病気です。花粉以外に「ダニの死骸や排泄物」「家のホコリ」「カビ」「イヌ、ネコなどの動物のフケ」などもアレルギー反応の原因物質となりますが、花粉を含む様々な物質（これを抗原と言います）で起こる鼻のアレルギー全体を「アレルギー性鼻炎」または「鼻アレルギー」と呼んでいます。その中で花粉が原因のものを「花粉症」と呼んでいます。

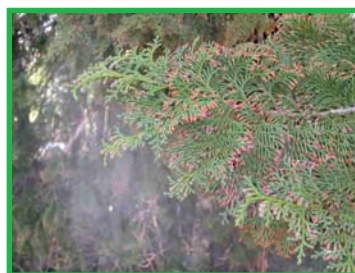
毎年2月頃から5月頃に世間を騒がせる「スギ花粉症」や「ヒノキ花粉症」は特に有名で、普通、日本で花粉症といえば、この「スギ・ヒノキ花粉症」を意味することが多いようです。詳しい方なら「ブタクサ」「ヨモギ」などのキク科植物、や「カモガヤ」などのイネ科植物の花粉も原因になることをご存知かもしれません。

最近の調査によれば、日本人の4人に1人（26.5%）は「スギ花粉症」

で、スギ以外のその他の植物の「花粉症」を含めると29.8%、「花粉症」を含む「アレルギー性鼻炎」全体では39.4%に達しているようです。



スギ花粉



ヒノキ花粉



ヤケダニ

### ◎花粉症の治療

#### ①抗原除去・回避

「花粉症」に限らず「アレルギー性鼻炎」の治療で最も重要なものはこの「抗原除去・回避」で、これが完全にできれば、つらい症状とも別れられるのですが、現実にはなかなか困難です。

ただ、少しでも鼻に入ってくる花粉の量を少なくすることは大切で、マスク・帽子の着用、洗濯物やお布団の干し方の工夫、などこの季節になるとマスコミでもしばしば取り上げられていますので可能な範囲で実施してみても良いかもしれません。

#### ②薬物治療

現在、様々な「花粉症」の薬があります。街の薬局で市販されている薬もありますが、お医者さんでしか処方してもらえない薬もあります。

飲み薬（内服薬）、鼻に直接入れる薬（「点鼻薬」といいます）、注射薬など使い方も様々です。

また、同じ内服薬の中でも様々な種類があり、中には副作用の強いものもあるので注意しなければなりません。これは点鼻薬も注射薬も同じです。薬局で市販されているお薬は、副作用の弱いものが多いとされていますが、体質や持病の関係で気をつけなければならない薬もあります。購入時には薬局の人と体質や持病、現在使用している別の病気に対する薬などについてもよく相談するべきだと思います。お医者さんで処方してもらうときも同じです。

以前の花粉症シーズンで使用し、効果があり副作用（例えば、眠気）が出なかった薬は、記録しておくこと次のシーズンが来たときに便利です。

また、本格的に花粉の飛散が始まる前、つまり症状があまり出ていない時に早めに、治療を開始すると、症状が強くなってから治療を開始するよりも効果があるようです。

### ③特異的免疫療法（抗原特異的減感作療法）

「スギ花粉症」の方であれば、スギのエキス（製剤）を少しずつ体内に注入し、徐々に増量しながら、体をならして行こうと言う治療法です。効果があることは実証されていますが、皮下注射で投与する方法が一般的で、最初は週に1～2回通院しなければならず、ショックなどの副作用もあり、治療期間が長期（約3年）になるため、忙しい現在の日本ではあまり普及していないのが現状です。

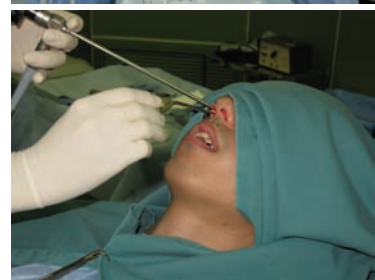
舌下投与法（舌の裏側に、パンなどにしみこませた抗原エキスを置き、吸収させる）なども試みられていますが、実用化はされていません。

### ④手術治療

当科でも行っていますが、炭酸ガス・レーザー装置を使った「鼻粘膜焼灼術」は外来手術が可能で、原則的に入院の必要はありません。

ただ、この治療は花粉の飛散が始まる1ヶ月前頃までに済ませておく必要があり、この冊子が皆様の目に届く頃には、もう間に合わないかも知れません。また「鼻粘膜焼灼術」は効果が永続する訳ではないので、毎シーズン前、または1年おきに繰り返す必要があるかもしれません。

副鼻腔炎、鼻茸、鼻中隔湾曲症、などを伴っている場合は「鼻粘膜焼灼術」だけでは十分な効果が得られないこともありますので、手術を受ける前に担当の医師とよく相談する必要があると思います。



以上、花粉症について簡単に書いてみました。

今年（平成22年）は、スギ花粉の飛散量が、昨年に比較して「少ない」との研究もあります。しかし、天候や個人の感受性の強さの違いなどで、症状の強く出る方もいらっしゃいますので決して油断はできません。以前から「花粉症」に悩まされ、春の陽気の中で悶々と過ごされていた方も多いと思います。そんな中で、より快適な生活を送りたい、と思われる方は、耳鼻科に一度いらしてください。改めて詳しくご説明いたします。

## 耳鼻咽喉科外来診療担当表

平成22年1月1日現在

	月	火	水	木	金
午前	坂口 真貝	神原 手術	坂口	山本 手術	真貝
午後	検査	手術	予約検査	手術	予約検査



# 登録医紹介



院長 西 紀

**一般内科、腎機能障害を専門に、わかり易い説明と納得のいく治療を目指しております。**

## 医療法人 西診療所

明けましておめでとうございます。西診療所の西です。弁天町の駅前にあるオーク200の6階で開業しています。今年の3月で開業17年になります。当院の特徴として、血液透析治療を専門に行っております。患者さんひとりひとりとしっかりお話をし、十分な理解のもと、その人にあった治療を行います。私自身、船員病院の内科に勤務させていただき透析治療にも従事しておりました。船員病院との御付き合いは24年になります。本当に船員病院のスタッフの方々にはお世話になっております。毎月のように入院患者さんを診て頂き、また当院にも御紹介いただきと、スムーズな病診連携が取られています。ウオーターフロントの機関病院として大活躍しておられる船員病院との連携を、今後も良好にして当院通院患者さんの安心につなげて行きたいと考えております。

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~11:30	○	○	○	○	○	○
午後 13:00~21:00	○	○	○	○	○	○

火曜日・木曜日・土曜日は14:30まで  
 一般内科診察のみ月曜日・水曜日・金曜日17:00まで  
 診療科：内科、人工透析 TEL：06-6577-1400  
 住所：大阪市港区弁天1-2-2-600 オーク200 6F  
 H P：http://www.nishi-shinryosho.com/



**関節、リハビリの諸問題、お任せ下さい。**

## 医療法人 やながクリニク

皆様お世話になっております、父の耳鼻科医院の後を引き継いだ三先のやながです。当院は整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科の3本柱があります。私は本来肩関節外科が専門ですが、いろんな病院で勉強した事で今は整形なんでも屋でございます。無床ですので手術はやりませんが、困難な症例は船員病院様を初めとして各基幹病院の専門医先生方に助けていただいております。2本目の柱、関節リウマチはメトトレキサート中心に他の免疫調節剤と併用療法、治療抵抗例には生物製剤を使いながら早期寛解導入を目指しています。最後のリハビリテーションは当院2階に物療室、3階に80㎡の機能訓練専用室があり3名の常勤PTが頑張っております。他施設からの訪問リハビリもお受けしており在宅中の機能低下を防げるように心がけております。まだまだ地域のご要望にお応え出来ていない面もございますが、今後ともよろしく願いいたします。



院長 彌永 邦彦



診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:30~12:00	○	○	○	○	○	○
午後 14:00~19:30	○	○	/	○	○	/

診療科：整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科  
 TEL：06-6577-4650  
 住所：大阪市港区三先2丁目13-29 弥永ビル 1F  
 H P：http://www.yanagaclinic.org/